

2003年1月20日
日図協ステップアップ研修C

コレクションづくりの実際

明定義人（滋賀県高月町立図書館）

0 はじめに （18:00～）

1 リストによる模擬選書

2 選書論について 価値論と要求論から

2 - 1 『こうすれば利用がふえる』（日図研）は「欲求・欲望」開放系。

2 - 2 利用者の「欲求・欲望」をどう展開するのか。POSで明日は？

2 - 3 利用者の「欲求・欲望」と「選書をする図書館員の私」

3 利用者を中心に考える

3 - 1 「たのしい」×「わかる」

3 - 2 「利用者」「図書館員」×「たのしい」「たのしくない」

4 図書館の「棚」が物語ること。

4 - 1 それは「利用者」と「本」と「図書館員」の関係。

4 - 2 利用者を否定する「本」と「図書館員」 159 人生論はどうか？

4 - 3 「ねばならない」「こうすべきだ」「どうしてああなのだ」世界の本

4 - 4 批判はあるが「代案」「対案」のない非現実的論議とバーチャルな世界

4 - 5 素人と玄人の境界が狭まりつつあるから「実用の世界」が広がる

5 「知的好奇心」あるいは「好奇心」を促す。

5 - 1 「本の世界」をどう見せるのか

5 - 2 予想（仮説）をたてて、実験をする セブンイレブンの発注

5 - 3 利用者の「欲求・欲望」を促すために「棚」はある

6 「バラエティに富んだ書架の表情」＝「本の世界の見せ方」

6 - 1 戦略的選書＋配架・分類の技術

6 - 2 「へえーこんな本もあるのか」本

7 おわりに 「たのしい貸出」に向けて